



②
コート

5	1 い っ ち ゃ く
---	----------------------------

8	2
---	---



①
はち

6	1 い っ ぴ き
---	-----------------------

9	2
---	---



【れい】ヘリコプター

1 い っ き

3 さ ん き

《ふりかえり もんだい8》
上の絵のただしいかぞえかたをかんがえます。
□の中のすうじにあったかぞえかたで書こう。



⑤
だるま

5	1 い っ た い
---	-----------------------

10	2
----	---



④
すいてき

7	1 い っ て き
---	-----------------------

10	2
----	---



③
コップのみず

4	1 い っ ぱ い
---	-----------------------

9	3
---	---

つぎのアからウの三つのことばのうち、
ただし書きかたをえらぼう。

①

ア りようり
イ りよおり
ウ りよーり

②

ア ちよーちよ
イ ちようちよ
ウ ちよおちよ

③

ア ぼうし
イ ぼーし
ウ ぼおし

④

ア おうさま
イ おーさま
ウ おおさま

①

そ
せ
じ

②

いもの

ご

③

お

う

④

くり

ま

⑤

か

きせ

⑥

きよ

りゆ

つぎのことばの□のところに、あるひらがな一もじ
を入れると、ことばがかんせいします。□にあてはま
るひらがなを下からえらんで書こう。

か と ん す ー う



②

ほん

8	1 い っ さ つ
---	-----------------------

9	4
---	---



①

えんぴつ

8	1 い っ ぽ ん
---	-----------------------

9	3
---	---



【れい】とけい（じかん）

1 い ち じ か ん

3 さ ん じ か ん

□の中のすうじにあったかぞえかたで書こう。

上の絵のただしいかぞえかたをかんがえます。



⑤

いちご

8	1 ひ と つ ぶ
---	-----------------------

10	2
----	---



④

とけい（ふん）

5	1 い っ ぶ ん
---	-----------------------

10	2
----	---



③

くつ

7	1 い っ そ く
---	-----------------------

10	2
----	---

つぎのアからウの三つのことばのうち、
ただし書きかたをえらぼう。

①

ア とけい
イ とけえ
ウ とけー

②

ア けいさん
イ けえさん
ウ けーさん

③

ア えーご
イ ええご
ウ えいご

④

ア けーさつ
イ けいさつ
ウ けえさつ

①

しやき

も

②

ぶら

げ

③

のびあ

④

るけ

き

⑤

せ

⑥

うち

つぎのことばの□のところに、あるひらがな一もじ
を入れると、ことばがかんせいします。□にあてはま
るひらがなを下からえらんで書こう。

あ い よ ー し ん

つぎの 文^{ぶん}しようによんでといに答^{こた}えよう。

つばきは、^①まじよの手^てがみ^てを^て手^てにとって、もう
いちどよくよみました。そして、かおを^あ上げて、
②どうろの^{さゆう}左右^{さゆう}をたしかめました。車^{くるま}は来^きません。
③どうしまし^②しょうか。えい、おもいきってどうろを
走^{はし}ってつっきりました。そのいきおいのままさく
の下^{した}をくぐりぬけ、つばきはまじよのもりにとつ
にゆうしました。あたりはうすぐらく、
とした気^けはいがつばきをつつみました。

(1) —せん①「まじよの手^てがみ」とありますが、
どんなことが書^かかれていとおもいますか。アか
らウからえらぼう。

- ア まじよのもりへのちず
- イ どうろのわたりかた
- ウ さくの下のくぐるぬけかた

(2) —せん②「どうしまししょうか」とありますが、
何^{なに}を、どうしようとかんがえましたか。□の中^{なか}に入る^{はい}
ことばを書^かこう。

車^{くるま}が来^こないので
どうろを
かんがえた。
と、

(3) □には、どのようなことばが入^{はい}りますか。アから
ウからえらぼう。

- ア ひんやり
- イ ぽっかり
- ウ しょんぼり

つぎの 文^{ぶん}しようによんでといに答^{こた}えよう。

空^{そら}色^{いろ}のつるは、えだからえだへからまって、森^{もり}のおくへつづいていました。つるには、あちこち葉^はっぱが^で出て、ところどころ青^{あお}むらさきや 赤^{あか}むらさきのみまでついています。それが、つばきが^{ある}歩^{ある}くとスルスと、まるで「」と^い言^いっているようにひっこんでゆくのです。そのとき、葉^はっぱやみをそっと地^じめんにおとしてゆくので、それが^②まるでみちしるべのようでした。そうか、このあとをたどればいいんだ、とつばきはおもいました。

(1)―せん①「森^{もり}のおくへつづいていました」とありますが、何^{なに}が森^{もり}のおくへつづいているのですか。

(2)「」には、どんなことばが入りますか。
アからウからえらぼう。

ア あっちへ いけ。
イ どこへ いくの。
ウ こっちへ おいで。

(3)―せん②「まるでみちしるべのようでした」とありますが、何^{なに}がみちしるべのようになっているのですか。

つぎの 文^{ぶん}しょうをよんでといに答^{こた}えよう。

きつねの子^こが森^{もり}で、黄色^{きいろ}いばけつを見^みつけました。それは、まえからほしかった黄色^{きいろ}のばけつでした。そこで一^{いっ}しゅうかんまって、だれもとりにこなかったら、じぶんのものにしようときめました。きつねの子^こはまい日^{にち}ばけつを見^みにいきます。

そして、とうとう月^{げつ}よう日^び。あさはやく、きつねの子^こがきてみると、ばけつはなくなっていました。「ぎんねんだなあ。」くまの子^こがきて、いいました。「きのうは、ちゃんとあったのにね。」うさぎの子^こもきていいました。「もちぬしがとりにきたのかな。」「だれかがとおりすがりにひろっていったのかしら。」くまの子^こと、うさぎの子^こが、くちぐちにいました。(どっちでもいい)と、きつねの子^こは、おもいました。たった一^{いっ}しゅうかんだったのに、ずいぶん長^{なが}いこと、黄色^{きいろ}いばけつといっしょにいたような気^きがしました。そのあいだ、あの黄色^{きいろ}いばけつは、ほかのだれのものでもなく、いつもじぶんのものだったと、きつねの子^こは、おもいました。「いいんだよ、もう。」

きつねの子^こは、あつさりいうと、かおをあげて空^{そら}を見^みました。青^{あお}い青^{あお}い空^{そら}が、どこまでもひろがっていました。「いいんだよほんとに。」きつねの子^こは、もういちどさういうと、くまの子^こと、うさぎの子^こにおかってニコっとわらってみせました。

(一)―せん①「とうとう月^{げつ}よう日^び」とありますが、「とうとう」から、きつねの子^このどんな気^きもちがわかりますか。アからウからえらぼう。

ア おもったとおり げつようびに なった。

イ まちつづけて やっと げつようびに なった。

ウ げつようびに なって こまったなあ。

エ ほんとに きょうは げつようびなのかな。



(2) つぎのことは、だれがいったことばですか。あとの□の中になまえを書こう。

「ざんねんだなあ。」

の子こ

「きのうは、ちゃんとあったのにね。」

の子こ

「もちぬしがとりにきたのかな。」

の子こ

「いいんだよ、もう。」

の子こ

(3) 黄色いばけつがなくなってしまったのがわかったとき、くまの子とうさぎの子は、どうおもいましたか。□の中に二つ書こう。

(4) きつねの子は、なくなってしまった黄色いばけつをどうおもっていますか。アからウからえらぼう。

ア ちようど、あきてしまったので
なくなつて ほつとした。

イ こころの中にあたたかくのこっている。

ウ だれかにもっていかれたのが
くやしくて わすれられない。